

第三号議案 2010年度事業計画承認について

2010年度 活動計画

1、フィリピン日系人の日本国籍取得に関する調査研究及び相談事業

面接調査、就籍(証拠収集も含め)、一時帰国事業、身分上の届出、を一連の流れとして行う。

- 1、現地における面接調査によりフィリピン全土の支援対象者を確定し、調査結果をもとに身元捜しに全力を尽くす。
- 2、日本財団助成事業の一環として、身元が判明しないケースについて、今年度は67人の2世の就籍申立支援、就籍係属中の2世の裁判所調査官面接のための一時帰国支援を実施する。昨年度中に申立済54件について引き続き追加資料収集等を行なう。
- 3、現在も日系人登録していない日系人や地域も多く存在する為、それらの調査も順次実施する。その体制は常時1名のスタッフがフィリピン現地で調査に従事し、現地スタッフも採用、指導しなおかつ補強要員として日本から所員を出張する体制をとり、事業がより円滑に進むよう、各支部との連携を強化する。
- 4、次世代を担う現地支部の担当者と協力して未判明者の資料発掘や情報収集に努める。
- 5、身元判明後は現地日系人会及び該当家族と協同して家族ファイル作成を支援する。
- 6、身元判明後は日本旅券取得について希望者へ速やかに支援する。
- 7、身元は判明したが戸籍に名前の記載の無い2世の身分上の届出(出生、婚姻、死亡等) 手続を支援する。
- 8、外務省第6次調査として残留者実態調査を実施し、解決につながる「フィリピン残留日本人2世名簿(残留孤児名簿)を作成し、就籍事業の証拠として提出する。

2、啓発、広報、講義、等活動の充実

- 1、 各種メディア、インターネットを通じて、会員をはじめ広く一般市民に、PNLSCの活動や国籍を取得できたフィリピン日系人の声を具体的に伝える。ニュースレターは読み手の意見や評価を容れ、参加を促しつつ内容をより充実させる。
- 2、 一般社会人・学生らを対象とした人権問題、国際協力等の講義、セミナーへの出張講義を実施する。
- 3、 これ等広報活動を通じて会員入会を呼びかける。

3、在日フィリピン日系人支援の強化

- 1、 在日フィリピン日系人に PNLSC の存在と役割が認知されるよう広報活動に努めコミュニケーションを密にし、彼らの抱える問題の把握に努める。フィリピン日系人間の情報共有、ネットワーク構築を支援する。
- 2、 在日フィリピン日系人の生活上の悩みや相談について支援する。
- 3、 在日フィリピン日系人間のネットワークづくりを側面支援する。フィリピン日系人とともに、イベント(クリスマス会など)を企画、実施する。
- 4、 在日フィリピン日系人が一時帰国者との交流が出来るよう、帰国日程に併せて相互の支援体制を構築する。

4、政策提言活動の充実

- 1、 フィリピン日系人問題、特に身元未判明者の問題を解決するため、国会議員たちの会『フィリピン残留日本人問題等議員連盟』へ、残留者問題の解決策として作成された「フィリピン残留日本人名簿(孤児名簿)」に対し、フィリピンとの二国間交渉につき、実現に至るまで協働関係を推進する。
- 2、 厚生労働省、外務省、法務省との情報交換を密にし、ともにできることを探る。日比両国の政治家、関係行政と意見交換の場を持ち、支援を求め、ともに取り組める事業を模索し、解決策を探る。特に国会議員たちの会(議連)はこの問題解決に大きな支援を約しているので、前期同様あらゆる場面で協力要請する。

5、フィリピン日系人問題に関する関係諸団体との協力推進、ネットワーク事業

- 1、 フィリピン各地の日系人会とのコミュニケーションを密にし、組織の抱える悩みや問

題の把握に努める。各日系人会の次世代をになう育成支援や、組織運営力の強化に協力する。

2、フィリピンに関わる他のNGO、NPO各団体や研究者、らと残留者問題について会議を現地で行う。

3、現地からの引揚者、支援者等とネットワークを強化し、相互理解を深める。

6、その他の事業

1、バザーその他

1-1 2010年(開催月不明)開催(予定)グローバルフェスタに出展予定

1-2 2010年8月下旬開催予定日比NGO主催「第3回日比NGOシンポジウム」
に出席予定

※残留日本人についての分科会がある予定